

日本ELVリサイクル機構 ニュースレター (ELV Newsletter)

《編集・発行責任者》日本ELVリサイクル機構 広報部会長 永田 則男

一般社団法人 日本ELVリサイクル機構 〒105-0004 東京都港区新橋3丁目2-2 一美ビル5F

Tel:03-3519-5181 Fax:03-3597-5171 メール: jaera-homepage@elv.or.jp URL: http://www.elv.or.jp/

《巻頭言》

先般、我が社では、異業種団体の復興支援交流市に社員とその家族総出で参加いたしました。今年で2回目の出展ですが、一般ユーザーに私たちの業態をどうアピールするかで頭を悩まします。リユース部品の販売や「廃車は任せください」キャンペーン、お手頃修理の提案等々探せば色々ありますが、限られたスペースと人員では、中途半端になりかねないの思いから、我が社ブースでは、関係者に協力を仰ぎ、自動車リサイクル説明パネル、廃シートのベルト製のバッグ、廃タイヤ製のシューズ(カナダ製)や、軽自動車エンジンのカットモデル等を展示しました。多くの来訪者、知人、他の出展者の皆さんが我が社のブースに立ち寄り、興味深げに展示物を見ていきました。

人手がないので、一般入場者への説明に孤軍奮闘する弟たちや、普段は配達、経理、総務などを忙しくこなしてくれている母が、通りすがりの来場者に丁寧にチラシ配っている姿に心を打たれた私は、このイベントに皆で参加して本当によかったと感じました。

また、今回のイベントに参加して、会社の形態は多種多様で、それぞれに適したアピールの方法があることを実感し、自社や業界を世間にアピールする有効な手段を学ばせていただきました。今後の活動に繋いでいけるよう頑張りたいと思います。

理事広報部会委員・東北ブロック長
平地健 (有平地商会・宮城県)

日本ELVリサイクル機構「会員交流会」開催案内と代表理事からのメッセージ

インストラクター決起集会に 寄せて担当部会長ご挨拶

この度、リサイクル技術部会・部会長に就任致しました三木でございます。先輩諸氏の指導を仰ぎ、全国産業廃棄物連合会、日本鉄リサイクル工業会等での経験を生かし、業界の発展の為に尽力致す所存です。

部会では、これまでの地域団体講習会を発展させて「ELV機構認定講習会」に格上げし、その修了者を「自動車リサイクル管理士(管理者)及び自動車解体士(実務者)」として認定する枠組み作りを行っております。(名称は仮称)

この制度はELV機構が主導して優良事業者及び人材の育成を行い、この講習会が所轄の自治体に認定講習として認知されるべく、最終的に自動車解体業許可における認定講習としての地位を確立することを目指しております。「インストラクター決起集会」は、本事業の中心となるインストラクターの皆様とともに、講習会の開催方法、進め方などを検討することを目的として開催いたしますので関係者の皆様のご協力をお願い申し上げます。□

リサイクル技術(RT)部会
部会長 三木 康弘(徳島県)

ELVリサイクル機構の取り組み

ELV機構 代表理事 河村二四夫

第三代ELVリサイクル機構代表理事に就任して3ヶ月が過ぎました。今機構の重要な案件は自動車リサイクル業界の権益確保の為、会員を結束させ業界に活力を与える役目と考えます。近年ELV機構の組織力低下が社会への発言力の低下に繋がりが最後に我々の事業に影響が生じます。

機構は創立時の原点に回歸し自動車リサイクル法施行十年目の見直し課題に真剣に向き合うべきと考えます。自り法の見直し提案は遅くとも11月までに機構にお寄せ願います。皆様方のご意見をベースに処問題を精査して、関係団体と協議に入ります。今後は皆様方の事業権益を守る為に大事な時期でもあります。

① 団結 ② 行動 ③ 業界保険、三要素が必要です。自動車リサイクル業の随一の窓口は機構であり業界の責任団体として諸問題を協議して行政に提案する大事な役目です。10月28日に東京新橋で開催される機構の「会員交流会」は、未来志向への試金石であり前年度の申し送り事項の報告もあります。多くのELV機構会員の参加をお待ちしています。

(次号に続きます)

～ご案内～

ELV機構常任役員会は、去る6月の定期社員総会の際に会員の皆様にお約束した「会員交流会」を次の要領で開催することを決定しました。

《開催日》平成24年10月28日(日)

《プログラム》

I) 12:30-13:30 インストラクター決起集会

II) 13:45-15:45 会員交流会

III) 16:00-17:30 懇親会

《場所》

東京都港区新橋2丁目12-15

田中田村町ビル (☎03-3273-1167)

◇会員交流会の主なテーマ

- ① 社員総会時の懸案事項報告
- ② 発炎筒回収・処理スキームについて
- ③ 資源循環事業について
- ④ 解体士資格制度について

◇会費5千円は会場にて徴収します。

なお、参加希望者は各地域団体並びに部品流通団体ごとに取りまとめでいただき、ELV機構事務局までご連絡くださるようお願いいたします。

皆さん、奮ってご参加ください！

お得情報

知っていて決して損しない、そんな情報をお知らせします。今回は、インターネット時代に必要なURL (Uniform Resource Locator)の内、我々業界に関係の深いものを掲載します。URLとはネット上の情報資源の所在場所を示すもので、ウェブサイト(ホームページ)アドレスが一般的です。

自動車メーカー(自工会メンバー)のホームページ

いすゞ自動車(株)	http://www.isuzu.co.jp/	本田技研工業(株)	http://www.honda.co.jp/
川崎重工(株)	http://www.khi.co.jp/	マツダ(株)	http://www.mazda.co.jp/
スズキ(株)	http://www.suzuki.co.jp/	三菱自動車工業(株)	http://www.mitsubishi-ptpor.co.jp/
ダイハツ工業(株)	http://www.daihatsu.co.jp/	三菱ふそうトラック・バス(株)	http://www.mitsubishi-fuso.com/
トヨタ自動車(株)	http://www.toyota.co.jp/	ヤマハ発動機(株)	http://www.yamaha-motor.co.jp/
日産自動車(株)	http://www.nissan.co.jp/	UDトラック(株)	http://www.udtrucks.co.jp/
日野自動車(株)	http://www.hino.co.jp/	日本自動車工業会	http://jama.or.jp
富士重工業(株)	http://www.fhi.co.jp/		

主な自動車関連団体のホームページ

日本自動車部品工業会	http://www.japia.or.jp/	日本自動車輸入協会	http://www.jaia-jp.org/
日本自動車車体工業会	http://www.jabia.or.jp/	日本自動車整備振興会連合会	http://www.jaspa.or.jp/
日本自動車機械工具工業会	http://jamta.or.jp/	全国レンタカー協会	http://www.rentacar.or.jp/
自動車技術会	http://jsae.or.jp/	日本中古自動車販売協会連合会	http://www.jucda.or.jp/
日本自動車研究所	http://jari.or.jp/	全日本トラック協会	http://www.jta.or.jp/
日本自動車販売協会連合会	http://www.jada.or.jp/	日本自動車リース協会連合会	http://www.jalanet.jp/
全国軽自動車協会連合会	http://www.zenkeijikyo.or.jp/	日本バス協会	http://www.bus.or.jp/
日本自動車会議所	http://www.aba-j.or.jp/		

自動車リサイクル関連機関のホームページ

自動車リサイクル促進センター	http://www.jarc.or.jp/
自動車再資源化協力機構	http://www.jarp.org/
日本鉄リサイクル工業会	http://www.jisri.or.jp/
日本ELVリサイクル機構	http://www.jaera.or.jp/
(株)ジャプラ	http://www.japra.co.jp/

《ELV機構加盟部品流通団体》

シーライオンズクラブ	http://www.s-lions.com/
NGP	http://www.ngp.gr.jp/
(株)システムオートパーツ	http://www.sap-net.co.jp/
TCRグループ	http://www.tcr-gr.jp/
テクスルネットワーク	http://www.ar2.co.jp/
SPNグループ	http://www.spn-partner.com

注: 日本パーツ協会、自動車部品研究会の公式ホームページ情報はありません。

ELV機構便り

～ARUYO(アルヨ)まつり～

札幌の丸利伊丹車両(株)(伊丹和雄社長)は、恒例、のARUYO祭りを本年も9月23-24日に開催し、会場となった同社敷地内は家族連れなど二日間で2,600人の来場者で賑わいました。これは同社がお客様へのお礼の気持ちを込めて様々なイベントを行うもので、店内のすべての部品を対象にした50%引き大セールや、来場者が自由に部品を取り外せるコーナーなどが設けられました。またフリーマーケットを開催し、売り上げは日本赤十字社を介して東日本大震災の義捐金に拠出されました。

また、無料の屋台コーナー、ゲームコーナー、ニブラーの実演などでは訪れた大人も子供も大いに楽しんでいました。回を重ねるに従って地元のイベントとして定着してきたとの自信にあふれた社員の声を聞くことができました。

《報告者》小宮山敬仁-本誌編集委員-



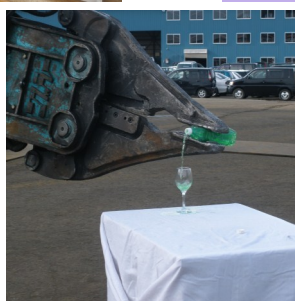
屋台コーナー

ゲームコーナー

デモンストレーションコーナー



受付も縦割りの車



目次

巻頭言	1
代表理事メッセージ	1
会員交流会案内	1
RT部会部会長挨拶	1
お得情報 (関係先webサイト一覧)	2
ELV機構便り	2
スクラップ市場動向	3
編集後記	3



札幌の街で信号待ちをするスーパーマリオとその仲間。車は普通免許で公道を走れるX-Kartとのこと。(facebookより)

～10月第2週(12日)の鉄スクラップ動向～

関東鉄源テンダーのH2平均落札価格は22,641円
!! 3年半ぶり安値 !!

関 東鉄源協同組合(理事長＝山下雄平ヤマシタ社長)は11日、鉄スクラップ共同輸出入札(テンダー)を実施した。続落する内外の鉄スクラップ相場を反映し、3年半ぶりの安値水準での落札となった。

11日テンダーのH2平均落札価格は、前月比3,291円安の1トあたり22,641円(FAS)。落札数量は21,000ト。2009年4月(21,636円)以来の安値落札となった。

日本国内の鉄スクラップ相場は、8月末から6週連続で値下がり。10月第1週末までの下落幅は5,300円(日刊市況通信社調べ・H2炉前総合価格)となっている。また、輸出価格も下落している。貿易筋によると、直近のH2輸出価格は22,500～23,000円(FOB)どころとなっている。

ただここへきて、韓国ミルに加えて、中国筋からも引き合いが出ている。今回の落札価格は、現在の関東湾岸のH2浜値22,000円中心に比べ高値水準。大方の落札商社は、落札分を約残消化に充てると見られるが、中国筋の手当て再開などといった変化も落札価格に影響したと見られる。

関東地区

需給双方が海外市場を注視、気配はなお弱気
関東地区では、11日のテンダーの結果が足元の浜値

より若干高かったこと、中国筋が日本の鉄スクラップの購入契約を進めたことから、需給双方が海外市場の様子を注視している状況だ。ただ、域内の10月の粗鋼生産予定は前年同月比46,800ト減の432,300トと縮小傾向にあることなどから、先行きはなお弱気の見方が大勢。現在の関東地区のH2炉前実勢価格は22,500～23,000円中心、高値23,000円見当。H2浜値は22,500円中心。

東

海地区 依然として弱気配のまま10月中旬へ

東海地区の鉄スクラップ市況は、依然として弱気配で月中旬を迎えている。地区電炉メーカーは前月から今月上旬にかけて9回、計5,000円がた購入価格を引下げており、H2炉前実勢価格は22,500～23,500円中心へと下押しした。足元の湾岸浜値はH2で21,500円(FAS)前後の安値圏にある。輸出価格の続落による湾岸浜値の先行安もあり、地場電炉値に有利な相場が続いているため、需給関係は依然として緩い状況だ。

関

西地区 西日本地域の鉄スクラップ市況は軟調

西日本の鉄スクラップ市況は、依然軟調の展開が続いている。東京製鉄が8月21日付の値上げ改定を直近のピークに、8月下旬から現在に至るまで幾度も値下げを重ねており、他社もすぐに追随するパターンが続くものの、いまだに底値感がないことがその要因だ。市中業者も「さらに下落する」という見通しを持つところが多い。大阪地区電炉のH2炉前実勢価格は22,500～23,500円。姫路地区のH2炉前実勢価格は23,000～23,500円見当。

(※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、10月12日午前時点のもの)

鉄スクラップ市況(5地区代納平均価格)の推移



10月12日の国内スクラップ炉前実勢価格

		H2		気配
関東	北関東	22,500	～ 23,000	値下がり
	南関東	22,500	～ 23,000	値下がり
名古屋		22,500	～ 23,500	値下がり
関西	大阪	22,500	～ 23,500	値下がり
	姫路	23,000	～ 23,500	値下がり

異業種交流市の展示 P1,《巻頭言》参照



▼北の方からは紅葉の「便り」が聞こえてくる。つい一か月前はまだ暑さにあえいでいたことを想うと不思議な思いさえする。これぞ正に日本的なのだろう。▼残念ながら目を引く様な記事の少ない本号であったが、会員交流会の案内と代表理事のメッセージはタイムリーなものといえよう。▼記事の埋め草と思われるものも致し方ないが、関係企業・団体のホームページの一覧を掲載した。お時間のある時トサーフでこのイトを訪問さめしたい。興味行きつくことも多いし情報ある。▼本号の玉手箱でもの巻頭言でも取り上げているが、各地でも様々な異業種交流の場が持たれているものと思う。同業者同士の交流も大切ではあるが、異業種との交流は、時には目から鱗の落ちる思いをするものかもしれない。大切にした。▼毎号お願いしているが、読者各位からの投稿がし目mmを作る。読者が作るニュースレターにしたいものだ。(編集子)

《編集後記》

味ある記事にめれるようお勧めする。▼本号の玉手箱でもの巻頭言でも取り上げているが、各地でも様々な異業種交流の場が持たれているものと思う。同業者同士の交流も大切ではあるが、異業種との交流は、時には目から鱗の落ちる思いをするものかもしれない。大切にした。▼毎号お願いしているが、読者各位からの投稿がし目mmを作る。読者が作るニュースレターにしたいものだ。(編集子)